

## 漏れ試験 新規受験申請時の訓練実施記録の書き方 (レベル 1・レベル 2)

新規受験申請時に必要となる訓練実施記録の作成方法についての手順を  
Step1～4 で説明します。

### Step1 受験する L T レベルに必要な訓練時間を確認してください。

受験申請を行う条件として、レベルごとに訓練時間が下表のように規定されています。

NDT 方法略称	レベル 1	レベル 2	
		レベル 1 資格所有者	レベル 1 資格非所有者
L T	40 時間	83 時間	123 時間

- ・ 訓練実施記録は、認証事業本部の指定する専用用紙を使って作成してください。  
(NDIS 0605 漏れ試験の頁からダウンロード出来ます。)
- ・ 漏れ試験の訓練(講習会)は当協会でも実施しています。協会 HP の「教育活動・講習会」の頁で日程、詳細を確認し、計画的に訓練を受けてください。  
【教育活動・講習会ホームページアドレス】  
<http://www.jsndi.jp/education/index1.html>

#### ※訓練者について※

2012 年秋期試験より漏れ試験制度がレベル 1 より開始されました。認証制度の開始にあたり、NDIS 0605 による有資格者が存在しないことから、L T 資格者による訓練が実施できません。よって「訓練責任者」が「訓練者」について相応の技術・知識があると判断した場合は、「訓練責任者」を置いて訓練実施記録を作成してください。

〈記入例は訓練 A (訓練責任者をおいた例) Page 5/8 頁を参照〉

- ※訓練者……………相応の技量がある訓練者
- ※訓練責任者……………訓練者の技量及び申請者が受けた L T 訓練について全責任をもてる方

**訓練者と訓練責任者は同一人物は認められません。**

## Step2 受験申請書に添付する訓練証明書を用意してください。

訓練実施記録は、受験申請書提出時に必要な添付書類です。受験申請書提出日からさかのぼって5年以内の訓練日のものが有効となります。従って、訓練実施記録の中に訓練実施日が5年以上経過した箇所があれば、その部分に限っては訓練時間の対象とはなりません。

### (1) 協会（他協会含む）や公共団体、その他団体の講習会を受けた場合

講習会の主催団体に訓練実施記録を発行してもらってください。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

### (2) 社内訓練の場合（注：申請者自身による自己学習は訓練時間として認められません）

社内訓練とは、社内の訓練者が教育シラバスに基づいて計画的に訓練を実施し、自社で訓練実施記録を作成する場合をいいます。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

### (3) 他会社の訓練を受けた場合

他会社の訓練とは、社内に訓練できる技術者がいない場合に、他社の技術者に教育シラバスに基づいた訓練を依頼した場合等が該当します。依頼した訓練者に訓練実施記録を作成してもらってください。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

#### ※2か所以上の訓練機関で訓練を受けた場合

2か所以上の訓練機関にて訓練を受けるなどして、訓練実施記録が2枚以上になる場合、訓練実施記録集計表にそれぞれの訓練実施記録の時間を集計していただき、新規受験申請書、訓練実施記録と共に提出してください。

記載例については→[訓練実施記録集計表を利用する \(Page6/8\) 参照](#)

※1か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合は、訓練実施記録集計表の提出は不要です。

#### 協会 HP にてご案内しております

- ・ L T 訓練の訓練内容は **認証事業本部が指定する教育シラバスに基づいて行ってください。** 教育シラバスの詳細は協会 HP NDIS0605 漏れ試験の頁の **漏れ試験 教育シラバス** にてご案内しております。
- ・ 訓練実施記録及び訓練実施記録集計表（MS Excel）は **認証事業本部指定のもの** になります。協会 HP NDIS0605 漏れ試験の頁から用紙をダウンロードしてください。

### Step3 受験申請書に訓練証明書を添付してください。

訓練実施記録は Step2 で説明のように 5 年間使用することが出来ますので、受験申請書に訓練実施記録を添付する際は、次の手順で行い、受験申請書に添付してください。

- (1) 訓練実施記録(原本)をコピーする。(原本は手元に保管してください。)
- (2) コピーした訓練実施記録にボールペン等で訓練を受けた者の署名欄に申請者本人が自筆署名のうえ、押印してください。

訓練実施記録原本を新規受験申請書に間違えて添付して提出した場合、**原本の返却はできません**。次回受験申請をする場合には訓練実施先から取り寄せていただく必要があります。訓練実施先によっては再発行に手数料が発生する場合がありますので、取扱にはご注意ください。

#### 拡大部分

NDT 方法・レベル	LT-レベル1
訓練を受けた者の氏名	非破壊 太郎
訓練を受けた者の署名・押印	印

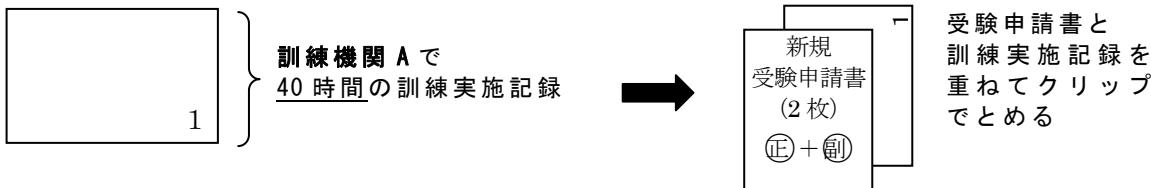
① 訓練実施記録原本をコピーする。まだ署名・押印欄はこの状態です。

NDT 方法・レベル	LT-レベル1
訓練を受けた者の氏名	非破壊 太郎
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 太郎 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">非破壊</span>

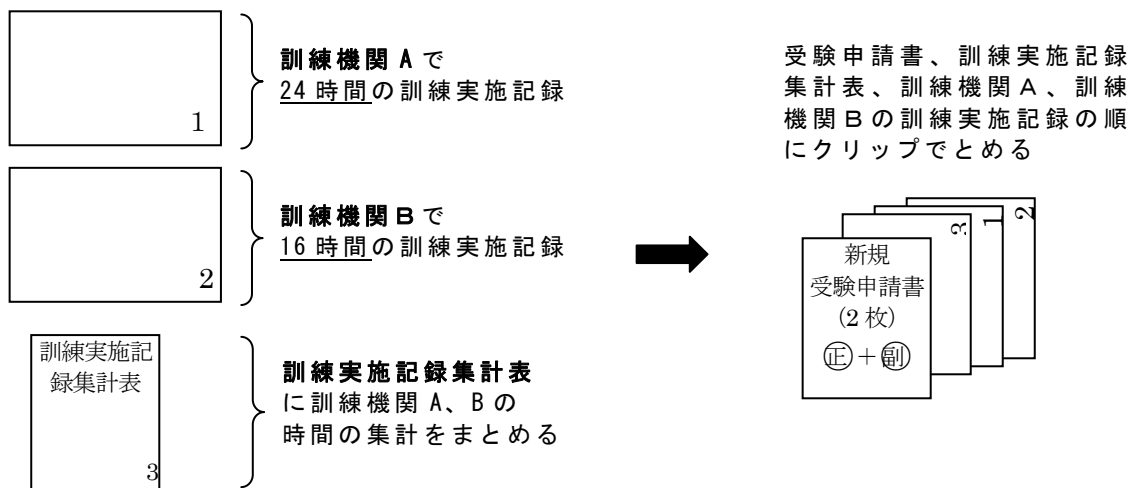
② コピーした訓練実施記録の訓練を受けた者の署名・押印欄に自筆署名、押印をしてください。

#### 新規受験申請書と訓練実施記録のまとめ方

- 1 か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合（訓練実施記録が1枚のみの場合）



- 2 か所以上の訓練機関で訓練時間を満足する場合・・・（訓練実施記録が2枚以上ある場合）



**Step4 新規受験申請書へ添付した訓練実施記録の訓練内容を入力してください。**

新規受験申請書は協会 HP からダウンロードできます。MS Word 上で申請内容を入力できますので、入力方法等の詳細は **漏れ試験 試験新規受験申請書の入力方法** をご確認ください。  
(受験申請書は ①、②、③ の 3 枚をプリントして ①、② を提出してください。③ は受験申請者本人が保管してください。)

(例) 新規受験申請書に **2012 年 7 月 7 日から 2012 年 7 月 25 日の間** に実施した **80 時間以上** の訓練実施記録が添付されている。

①申請書提出 ②申請書提出 ③受験者提出  
正 副 控 JSDI 2013 年春期資格試験 用 [ ]  
NDIS 0605 漏れ試験 新規受験申請書

受験申請日(西暦) 2013 年 1 月 7 日

試験種別	レベル	NDT 方法①	NDT 方法②	NDT 方法③	NDT 方法④	一次試験	二次試験
10	2	LT	**	**	**	13	13

個人コード P 1234567 性別 1. 男性 生年月日(西暦) 1970 年 12 月 09 日

勤務先名/フリガナ (勤務先名) 圧力容器検査事務所 (フリガナ) アツボウキケンサジムシヨ  
勤務先電話番号 03-5821-5104 実務 01

受験者氏名/フリガナ (氏名) 非破壊 新太郎 (フリガナ) ヒヤクシノタロウ 受験者 押印 (印)

NAME(ローマ字) HIHAKAI SHINTAROU

送付先指定 2 送付先名称 圧力容器検査事務所  
所属部署名 検査管理課  
受験者名 (又は担当者) 非破壊 新太郎  
郵便番号 千 101 - 0026 都道府県市区部 東京都千代田区  
町 村 神田佐久間河岸 大字・小字  
丁目○番地 67 筑付(ビル名等) TTLビル 8F  
電話番号 03-5821-5104 FAX 番号 03-3863-6522  
E-mail Address s-hihakai@youki.ne.jp

基礎試験合格番号①~③ 基礎試験合格者のみ入力 基礎試験合格有効期入力(西暦年月日)  
K \*\*\*\*\* 20 \*\*\*\* \*\*

受験申請した直下位のレベルの認定番号入力  
N \*\*\*\*\* ← いちこの受験申請をされた方で、いちこの(現在有効なもの)を保持し、訓練時間の総額を求める場合は、いちこの(資格証の認定番号)を入力し、資格証の2~5企業に添付すること。

訓練開始日(西暦)	訓練終了日(西暦)	添付書類枚数	合計訓練時間
2012 年 07 月 07 日	2012 年 07 月 25 日	3 枚	83 時間

●LTレベル1及び2受験者は必ず入力  
(訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
圧力容器検査事務所	2012 年 07 月 07 日 ~ 2012 年 07 月 11 日	40.5 時間	1
●●訓練センター	2012 年 07 月 15 日 ~ 2012 年 07 月 16 日	3.0 時間	2
日本非破壊検査協会	2012 年 07 月 21 日 ~ 2012 年 07 月 25 日	40 時間	3
	年 月 日 ~ 年 月 日	時間	
	合計訓練時間	83.5 時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数		4 枚
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

●LTレベル3受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい。)  
 個人印字用(その字印に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)  
 研究論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表会名)とそのタイトルを記載された証明書)  
 書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)  
 講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)

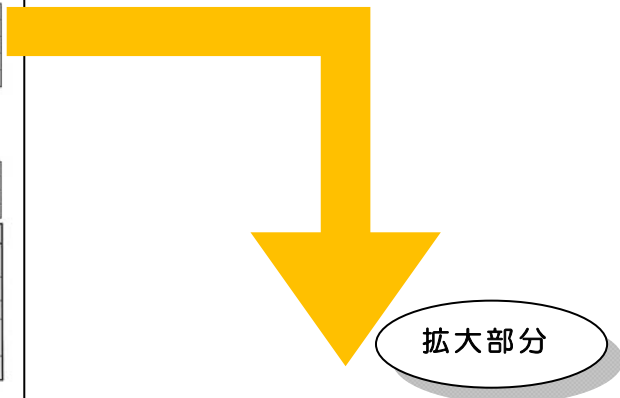
本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名	証明日(西暦)
非破壊 三郎	2013 年 01 月 06 日

勤務先名 圧力容器検査事務所  
所属部署-夜職 検査管理課 工場長  
勤務先住所 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 TTLビル 8F  
TEL/FAX TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

それぞれの訓練実施記録の訓練先名称、訓練実施日、延訓練時間を入力してください。

※訓練先名称とは訓練を行った機関や会社名を指します。「○○鉄工所内研修所」や「▲▲ビル土木現場」等の訓練実施場所ではありませんのでご注意ください。



拡大部分

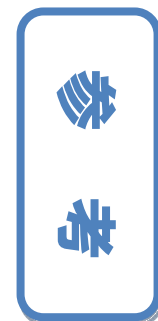
●LTレベル1及び2受験者は必ず入力

(訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
圧力容器検査事務所	2012 年 07 月 07 日 ~ 2012 年 07 月 11 日	40.5 時間	1
●●訓練センター	2012 年 07 月 15 日 ~ 2012 年 07 月 16 日	3.0 時間	2
日本非破壊検査協会	2012 年 07 月 21 日 ~ 2012 年 07 月 25 日	40 時間	3
	年 月 日 ~ 年 月 日	時間	
	合計訓練時間	83.5 時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数		4 枚
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

この例のように訓練実施記録が2枚以上となっているので訓練実施記録とは別に **訓練実施記録集計表** を添付する必要があります。  
(□にチェックを入れてください。)

●訓練A（訓練責任者を置いた場合）の作成例



漏れ試験 レベル1 訓練実施記録

NDT方法・レベル	LT-レベル1	証明日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	2012年7月13日
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎	—受験申請書に添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名（ボールペン等）、押印してください。訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。

訓練内容	シナシ参考時間	実績時間	実施日 (西暦.月.日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	認証番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	0.5	2012/7/6	●●化学(株)工場内	山田 真			
2. 漏れ試験概要	1.5	2.0	2012/7/6	●●化学(株)工場内	山田 真			
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	2.0	2012/7/6	●●化学(株)工場内	山田 真			
4. 発泡液体漏れ試験方法(含:実技)	6.0	3.0	2012/7/6	●●化学(株)工場内	山田 真			
		3.0	2012/7/8	●●化学(株)工場内	山田 真			
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	8.0	8.0	2012/7/9	圧力容器検査事務所	斉藤 明			
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	10.0	4.0	2012/7/7	●●化学(株)工場内	山田 真			
		6.0	2012/7/10	●●化学(株)工場内	山田 真			
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	2012/7/11	●●化学(株)工場内	山田 真			
8. 真空利用試験で使用される機器	2.0	2.0	2012/7/7	●●化学(株)工場内	山田 真			
9. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.0	1.0	2012/7/7	●●化学(株)工場内	山田 真			
合計	40.0	40.5	時間					

この訓練について全責任をもつ訓練責任者を置いた場合、この訓練Aのパターンになります。

訓練機関名称	圧力容器検査事務所	住所	東京都千代田区神田佐久間河岸67
訓練責任者	非破壊 三郎	役職	検査課 工場長
		TEL :	03-5821-5104
		FAX :	03-3863-6522

## ●訓練実施記録集計表を利用する

2か所以上の訓練機関で訓練を受けた場合や訓練実施記録が2枚以上になる場合、訓練実施記録とは別に訓練実施記録集計表に訓練時間を集計する必要があります。

### ① ② ③ ④

## 漏れ試験 レベル1 訓練実施記録集計表

証明日： 2012年7月6日

NDT方法・レベル	LT-レベル1		
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎		
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">非破壊</span>		

・複数の訓練機関の訓練実施記録を提出する場合は、本書に添めてください。  
・本書を使用する場合は、訓練を受けた者の署名・押印欄、及び雇用責任者の証明欄への記載・署名・押印が必要です。

訓練内容	シラバス参考時間	実績時間	訓練機関名称
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	0.5	●●化学科 工場内
2. 漏れ試験概要	1.5	2.0	●●化学科 工場内 ●●会社 ●●検査室
3. 漏れ試験の基礎概論	2.0	4.0	●●化学科 工場内 ●●会社 ●●検査室
4. 発泡、漏れ試験方法(含:実技)	6.0	8.0	●●化学科 工場内 ●●会社 ●●検査室
5. 圧力変化漏れ試験方法(含:実技)	8.0	8.0	圧力容器検査事務所
6. ヘリウム漏れ試験方法(含:実技)	10.0	12.0	●●化学科 工場内 ●●会社 ●●検査室
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	●●化学科 工場内
8. 真空利用試験で使用される機器	2.0	2.0	●●化学科 工場内
9. 非破壊検査－漏れ試験技術用語	1.0	1.0	●●化学科 工場内
実績合計		46.5	時間

◆ 雇用責任者証明欄 ◆

雇用責任者名: 非破壊 三郎 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">非破壊</span>	所在地: 〒 101-0026
勤務先名: 圧力容器検査事務所	東京都千代田区神田佐久間河岸67
所属: 検査管理課	電話番号: 03-5821-5104
役職: 工場長	FAX番号: 03-3863-6522

・複数の団体で講習会を受ける等、訓練実施記録が2枚以上になる時は、各訓練の時間の合計を集計表にまとめて、受験申請書、訓練実施記録と共に提出して下さい。  
・LTレベル1受験に必要な訓練時間は 40 時間です。

- ① 訓練を受けた者の自筆署名、押印をする。
- ② 2か所の訓練機関で受けた訓練時間の合計時間を入力
- ③ それぞれの訓練機関の名称を入力
- ④ 雇用責任者の証明欄(勤務先等署名、押印)を記入  
※雇用責任者とは、申請者が日常働いている組織体の責任者、又はその責任者により業務を委任されている代理者です。

(受験申請時の提出書類)

1 か所の訓練機関または訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合

● 新規受験申請書 ●  
(正・副)2枚提出してください。

● 訓練機関Aで 40 時間分の訓練実施記録 ●  
(訓練実施記録は1枚)

LT

正 副 控 JNDI 2013 年春期資格試験 用  
NDIS 0605 漏れ試験 新規受験申請書

受験申請日(西暦) 2013 年 1 月 7 日

試験種別	レベル	NDT 方法①	NDT 方法②	NDT 方法③	NDT 方法④	一次試験	二次試験
10	1	LT	**	**	**	13	13

個人コード P 1234567 性別 1. 男性 生年月日(西暦) 1970 年 12 月 09 日

勤務先名称/フリガナ 圧力容器検査事務所 アリアケウキケンサクシヨ

勤務先電話番号 03-5821-5104

受験者氏名/フリガナ 非破壊 新太郎 ひろゆき シンタロウ 受験者押印

NAME(ローマ字) HIHAKAI SHINTAROU

送付先指定 2 送付先名称 圧力容器検査事務所

所属部課名 検査管理課

受験者名(又は担当名) 非破壊 新太郎

郵便番号 〒 101-0026 都道府県市区部 東京都千代田区

町 村 神田佐久間河岸 大字・小字

〇丁目〇番地 67 気付(ビル名等) TTLビル 8F

電話番号 03-5821-5104 FAX 番号 03-3863-6522

E-mail Address e-hihakai@youki.ne.jp

基礎試験合格番号(レベル3 基礎試験合格者のみ入力)	基礎試験合格有効期限入力(西暦年月日)
K *****	20 ** * * *

受験申請した直下位のレベルの認証番号入力  
N \*\*\*\*\*

訓練開始日(西暦)	訓練終了日(西暦)	添付書類枚数	合計訓練時間
2012 年 07 月 07 日	2012 年 07 月 16 日	2 枚	43 時間

●LTレベル1 及び2受験者は必ず入力  
(訓練ごとにまとめて入力、2か所以上の訓練先で受験、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類枚
圧力容器検査事務所	2012 年 07 月 07 日 ~ 2012 年 07 月 11 日	40.5 時間	1
●●訓練センター	2012 年 07 月 15 日 ~ 2012 年 07 月 16 日	3.0 時間	2
	年 月 日 ~ 年 月 日	時間	
	年 月 日 ~ 年 月 日	時間	
	合計訓練時間	43.5 時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数	3 枚	

訓練実施記録集計表の添付は必ずこの欄に記入してください

●LTレベル3受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい)

個人的学習(その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)

研究・論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表者名)とそのタイトルを記載された証明書)

書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)

講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)

本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名	非破壊 三郎	証明日(西暦)	2013 年 01 月 06 日
勤務先名	圧力容器検査事務所		
所属部課・役職	検査管理課 工場長		
〒	101-0026		
勤務先住所	東京都千代田区神田佐久間河岸 67 TTLビル 8F		
TEL/FAX	TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522		



漏れ試験 レベル1 訓練実施記録

NDT方法・レベル	LT-レベル1		証明日	2012年7月13日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎		訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印してください。訓練記録は5年間で有効なため、複数回使用できます。	
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎			

訓練内容	予定訓練時間	実績時間	実施日(西暦月日)	場所	訓練者氏名	押印	保有資格	認証番号
1. 非破壊試験技術者の役割	0.5	0.5	2012/7/6	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
2. 漏れ試験概要	1.5	2.0	2012/7/6	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	2.0	2012/7/6	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
4. 発泡液体漏れ試験方法(含: 実技)	6.0	3.0	2012/7/6	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
		3.0	2012/7/8	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
5. 圧力変化漏れ試験方法(含: 実技)	8.0	8.0	2012/7/9	圧力容器検査事務所	斉藤 明	(印)		
6. ヘリウム漏れ試験方法(含: 実技)	10.0	4.0	2012/7/7	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
		6.0	2012/7/10	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	2012/7/11	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
8. 真空利用試験で使用される機器	2.0	2.0	2012/7/7	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
9. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.0	1.0	2012/7/7	●●化学館工場内	山田 真	(印)		
合計	40.0	40.5	時間					

訓練機関名称	圧力容器検査事務所	住所	東京都千代田区神田佐久間河岸 6 7
訓練責任者	非破壊 三郎	検査課 工場長	TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

1 か所の訓練機関で訓練を受けたり、訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合は受験申請書(2枚)と訓練実施記録(1枚)の提出のみで結構です。  
(訓練実施記録集計表を添付する必要はありません)  
※提出物※  
新規受験申請書(正・副)2枚 + 訓練機関Aで受けた訓練実施記録(1枚)



(受験申請時の提出書類)

2か所以上の訓練機関または訓練実施記録が2枚以上で訓練時間を満足する場合

● 新規受験申請書 ●  
(正・副)2枚提出してください。

正副控 JNDI 2013年春期資格試験 用  
NDS 0605 漏れ試験 新規受験申請書

受験申請日(西暦) 2013年1月7日

受験種別 レベル 10 1 LT \*\* \*\* \* 13 13

受験者氏名(フリガナ) P 1234567 性別 1.男性 生年月日 1970年12月08日

勤務先名(フリガナ) 圧力容器検査事務所 アブリカツキケンギヤムズ

受験番号(フリガナ) 03-5821-5104

受験者氏名(フリガナ) 非破壊 新太郎

〒101-0026 東京都千代田区 101-0026

TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

〒101-0026 東京都千代田区 101-0026

TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

● 訓練実施記録集計表 ●  
(訓練時間の集計をまとめてください。)

漏れ試験 レベル1 訓練実施記録集計表

受験日 2012年7月13日

訓練内容	シフト	実施時間	訓練機関名
1. 新規試験技術者の育成	0.5	0.5	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室
2. 漏れ試験機	1.5	2.0	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	4.0	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室
4. 実地漏れ試験方法(実地)	6.0	8.0	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室 圧力容器検査事務所
5. 圧力変化漏れ試験方法(実地)	8.0	8.0	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室
6. ヘリウム漏れ試験方法(実地)	10.0	12.0	●化学館 工場内 ●会社 ●検査室
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	●化学館 工場内
8. 真空用試験で採用される機器	2.0	2.0	●化学館 工場内
9. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.0	1.0	●化学館 工場内
合計	46.5	46.5	時間

● 雇員責任者証明欄 ●  
非破壊 三郎 〒101-0026  
圧力容器検査事務所 東京都千代田区神田佐久間河原67  
TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

● 訓練機関 A で 24 時間分の訓練実施記録 ●

漏れ試験 レベル1 訓練実施記録

受験日 2012年7月13日

訓練内容	シフト	実施時間	実施日(西暦)	場所	訓練者氏名	押印	備考	記録番号
1. 新規試験技術者の育成	0.5	0.5	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
2. 漏れ試験機	1.5	2.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	2.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
4. 実地漏れ試験方法(実地)	6.0	3.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
		3.0	2012/7/8	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
5. 圧力変化漏れ試験方法(実地)	8.0	8.0	2012/7/9	圧力容器検査事務所	齊藤 明	(印)		
6. ヘリウム漏れ試験方法(実地)	10.0	4.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
		6.0	2012/7/10	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	2012/7/11	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
8. 真空用試験で採用される機器	2.0	2.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
9. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.0	1.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
合計	40.0	40.5	時間					

訓練機関名 圧力容器検査事務所 住所 東京都千代田区神田佐久間河原67  
訓練責任者 非破壊 三郎 TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

● 訓練機関 B で 16 時間分の訓練実施記録 ●

漏れ試験 レベル1 訓練実施記録

受験日 2012年7月13日

訓練内容	シフト	実施時間	実施日(西暦)	場所	訓練者氏名	押印	備考	記録番号
1. 新規試験技術者の育成	0.5	0.5	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
2. 漏れ試験機	1.5	2.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
3. 漏れ試験の基礎理論	2.0	2.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
4. 実地漏れ試験方法(実地)	6.0	3.0	2012/7/6	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
		3.0	2012/7/8	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
5. 圧力変化漏れ試験方法(実地)	8.0	8.0	2012/7/9	圧力容器検査事務所	齊藤 明	(印)		
6. ヘリウム漏れ試験方法(実地)	10.0	4.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
		6.0	2012/7/10	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
7. その他の漏れ試験方法	9.0	9.0	2012/7/11	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
8. 真空用試験で採用される機器	2.0	2.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
9. 非破壊検査-漏れ試験技術用語	1.0	1.0	2012/7/7	●化学館 工場内	山田 真	(印)		
合計	40.0	40.5	時間					

訓練機関名 圧力容器検査事務所 住所 東京都千代田区神田佐久間河原67  
訓練責任者 非破壊 三郎 TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522

2か所以上の訓練機関で訓練を受けるなどして、訓練実施記録が2枚以上で訓練時間を満足する場合は、更に訓練実施記録集計表に訓練時間の集計をまとめていただき、新規受験申請書と共に提出してください。

※提出物※

新規受験申請書(正・副)2枚 + 訓練実施記録集計表 + 訓練機関 A で受けた訓練実施記録 + 訓練機関 B で受けた訓練実施記録

